

## 五十年2クールでみる未来

### じぎょう 『自業のすすめ』をすすめて

自分ならではのビジネスと人生。自他ともに問い続けて二十余年。それなりの蓄積と自分なりの観察結果をまとめておこうと昨年夏に書き始めた『自業のすすめ』(仮題)。まだ途中というのも情けない話ですが、収穫はあります。“生みの苦しみ”はあるけど、必ず生まれる…!

### リーズレターについて

事務所を開設した1995年当初は紙媒体を郵送、ホームページを開設してからはネット上に掲載し、季節のご挨拶に代えてお届けしています。

この間に感じたこと、考えさせられたことなどを書いています。見て聞いて感じ考える。そういうことが本当に好きなんだと思う今日この頃です。

1945年終戦から2年後に日本国憲法施行、10年後に55年体制確立、15年後に安保闘争、20年後に東京オリンピック、25年後に大阪万博、30年後に山陽新幹線、35年後にダイエー年商1兆円、40年後にバブル景気、45年後にバブル崩壊、50年後に阪神あわじ大震災、サリン事件、日本におけるインターネット元年、戦後50年の1995年。



社会全体の価値基準が根こそぎ変わるような事態。全く新しい出発を余儀なくされる状況。戦争以外ではなかなかあり得ないことです。混沌とした中、変わり身の早さもよしとして、とにかく生きていく。終戦時に物心ついた10歳の子が、社会の第一線に出だしてそれでいいのかと大人に問う若気も、高度経済成長の足並みに揃い、「一億総中流」。

混沌を受け入れ前向きに諦め身をかかわすまでに概ね10年、新しいこの世に適うために学習し習熟するまでに10年。習熟してその成果が出るまでに10年。成果に酔い緩慢になっていく10年。そしてそのツケが回り始める最終10年。社会は人の集まり、新しい状況に戸惑っても、いずれ慣れ、そのうち狎れていく。そしてまた訪れる終りと新しい始まり。

1995年から2045年までの50年。2年後の山一証券破綻を皮切りに、同じ社会に住んでも住む世界が異なる「格差社会」、1995年から20年の今2015年。これまで「インターネット」これから「人口知能」、かつて「安保反対」いま「安保法制」。2025年には“人工知能ライフスタイル”、2035年に1935年生まれ100歳。残り10年で何が終るのか、始まるのか。

LEE'S リーズ  
http://www.leelee.com  
〒530-0012  
大阪市北区芝田2丁目8-15  
北梅田ビル35号  
リー・ヤマネ・清実

### 日経タ刊「あすへの話題」と「プロムナード」

ちょっと距離をおきながら読むようにしている日経。今年に入ってから真剣に読んでいる記事2つ。火曜日の元検事総長が書く「あすへの話題」と、木曜日の批評家が書く「プロムナード」。

前者は、文字数も少ないのに、あのコンパクトな枠の中に、一つの情景がみごとに表され、涙がこ

みあげたり、ニヤツとしたり。うまくまとめるなあ后感心。

「プロムナード」にいたっては、よく選んで煮詰めきった言葉が狭い平面に無駄なく並び、読むと情景が立ち上がる。ただただ、唸るばかりです。

